



自衛隊
八重山駐屯地近くに住む嵩田公民館前会長の金城哲浩氏とお会いした。
与那国出身で嵩田に移住してマン

八重山の自衛隊基地

戦後80年の節目にあたり、支部協では中央協議会と連携し、1月下旬から2月中旬にかけて、今、沖縄で何が起こっているのか。沖縄の現状に向き合うことを目的に取り組んで参りました、先月号に引き続き八重山の自衛隊基地強化などをテーマに現地見学、関係者等へ面談などを行いました。

オバーたちの会・山里節子

1937年石垣市登野城に生まれる。

①石垣島で戦争を体験し、島内の疎開先でマラリアに罹患



山里節子さんを囲んで

八重山平和祈念館にて

①戦争マラリアについて綿貫学芸員の説明を受けた。戦時中に軍命によりマラリア有病地へ強制疎開させられ、全人口(31,681人)の半数(16,884人)が罹患、3,647人が亡くなつた。



地区協との対話会

八重山平和記念館前にて

②軍の特務機関から学校の教

じる。島全体が平和ボケしているようだ。

②反対運動もやりづらくなっている。以前なら労働団体の運動も活発にしていたが今や集会なども開催されていない。

③石垣市長の横暴さが目立つ。自衛隊の配備に関する住民投票について、有効な署名活動を獲得し、石垣市長へ提出したが、投票について、有効な署名活動を書きこみ、岩石の分布図を作成した米軍は、ヘレンらの地質報告書を基に、軍事施設の適地についての提言を加えて軍事報告書として完成させる。

「私が協力した調査が軍事目的だと知り、贖罪意識を抱くようになった。今でもそれを首根っこに背負っている」と山里は言う。米国は戦争は終わつたのに次の戦争の準備していた。

5人の女性が面接を受け、山里だけが採用された。女性地質学者ヘレン・フォスターが島内を回る時、付き添つて手伝う仕事。石灰岩や花こう岩

①自衛隊基地がどんどんと拡張され我が家付近まで迫つてしまた。まさに要塞化している。ヘリコプターが上空を飛んだり、実弾演習、米軍との合同演習なども予想される。不安と怒りしかない。

②水源地、農業用ダムの汚染も心配である。石垣市長へ抗議したが、使用しなければ良いと言われた。市民を何と思っているか。

③自衛隊の配備の賛否を問う住民投票の署名活動を行つたが、市長、石垣市議会でつぶされた。反対運動がやりづらくなってきた。

「いのちと暮らしを守る

支部協では中央協議会と連携し、1月下旬から2月中旬にかけて、今、沖縄で何が起こっているのか。沖縄の現状に向き合うことを目的に取り組んで参りました、先月号に引き続き八重山の自衛隊基地強化などをテーマに現地見学、関係者等へ面談などを実行しました。

①自衛隊基地がどんどんと拡張され我が家付近まで迫つてしまた。まさに要塞化している。ヘリコプターが上空を飛んだり、実弾演習、米軍との合同演習なども予想される。不安と怒りしかない。

②水源地、農業用ダムの汚染も心配である。石垣市長へ抗議したが、使用しなければ良いと言われた。市民を何と思っているか。

③自衛隊の配備の賛否を問う住民投票の署名活動を行つたが、市長、石垣市議会でつぶされた。反対運動がやりづらくなってきた。

「いのちと暮らしを守る

ゴー農園を営んでいる。張され我が家付近まで迫つてしまた。まさに要塞化している。ヘリコプターが上空を飛んだり、実弾演習、米軍との合同演習なども予想される。不安と怒りしかない。

②水源地、農業用ダムの汚染も心配である。石垣市長へ抗議したが、使用しなければ良いと言われた。市民を何と思っているか。

③自衛隊の配備の賛否を問う住民投票の署名活動を行つたが、市長、石垣市議会でつぶされた。反対運動がやりづらくなってきた。

「いのちと暮らしを守る

2016年に「いのちと暮らしを守るオバーたちの会」を結成、定例会を持ち、毎週スタンディングで反対運動を続けていた。作られたのはしない。この島に戦争を持ち込むなど訴えた。

①自衛隊の配備が強化され、台湾有事が騒がれているにも関わらず、市民の意識も弱く感じない。この島に戦争を持ち込むなど語り継いでいる。

八重山地区協との対話会より

①自衛隊の配備が強化され、台湾有事が騒がれているにも関わらず、市民の意識も弱く感じない。この島に戦争を持ち込むなど語り継いでいる。

2025年2月27日付の八重山毎日新聞一面のトップは「米海軍揚陸艦が石垣入港」の見出しで始まり、サブタイトルで「海自艦と初めて同時に」となつていて。

2月26日午前に米海軍ドック型輸送揚陸艦「サンディエゴ」と海上自衛隊訓練支援艦「くろべ」が入港したのだ。

その隣には「空港・港湾の軍事利用NO」市民団体ら岸壁で抗議のタイトルで私たちが参加した抗議の模様が掲載さ

沖縄の現状に向き合う

中央協議会と連携した取り組み

②戦後、山里は八重山高校に通いながら米国民政府が設立した琉米文化会館で英会話を習った。同会館の英語教師から「米国地質調査所の調査団が、助手を求めていた」と声をかけられる。

5人の女性が面接を受け、山里だけが採用された。女性地質学者ヘレン・フォスターが島内を回る時、付き添つて手伝う仕事。石灰岩や花こう岩

牛馬、家畜などは米軍の食料になるおそれがあるという名目で日本軍のさせまつた食料確保のために作戦だった。八重山では地上戦は無かつたが、戦争マラリアという過酷な戦争体験を忌まわしい事件として今に語り継いでいる。

③自衛隊配備に反対し、2016年に「いのちと暮らしを守るオバーたちの会」を結成、定例会を持ち、毎週スタンディングで反対運動を続けていた。作られたのはしない。この島に戦争を持ち込むなど語り継いでいる。

②反対運動もやりづらくなっている。以前なら労働団体の運動も活発にしていたが今や集会なども開催されていない。

③石垣市長の横暴さが目立つ。自衛隊の配備に関する住民投票について、有効な署名活動を

支部協だより

第241号

発行所
NTT労組退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-1
NTT城間ビル7F
TEL.098-870-7101
FAX.098-875-7450
発行責任者
会長 金城 章

れています。

事前の2月21日に寄港に抗議し、中止を求める声明を発表し、要請文として市や海上幕僚長、第3海兵機動展開部隊など米軍側にも提出していました。提出にあたり平和憲法を求める八重山連絡協議会

の大浜共同代表は、「国の意向だけでなく市長の考え方で状況は変わる。市民の生活を一番に考えてほしい。国を守るために市長ではなく市民を守るた

東日本大震災から14年目を迎えた3月11日、甚大な被害をもたらし、多くの命が失われたこと、毎年、この日は犠牲になられた方に哀悼の意を捧げています。記憶を風化させではないという想いから国会の質疑にも臨んでいます。

当時、私、吉川さおりは与党の一議員として総務委員会、災害対策特別委員会に所属し、現地視察を行うと共に、被害状況の把握に努め、ライフラインの復旧や自治体職員の支援体制、現地ニーズとボランティアとのマッチングなど、できることを仲間の議員と共に取り組んできました。

さらには情報通信WT座長としてその年の7月には「被災地の復旧・復興及び防災に資するICT関連施策」をまとめ、与党の提言として了承され、その内容はその後の施策にも反映されています。

震災からの復旧、復興は被災された方々の想いを一番に考え、共に未来に向けて歩むものだと思います。当時の記録を後世に残し、再び起こるかもしれない災害に備えることが大事です。その後も各地で自然災害が多発しています。様々な災害に対して、国民の生命、身体、財産を守るために取り組みとして、避難のあり方、政府の対応のあり方など、与野党を越えた対策を講ずべく、委員会などで質問を重ねています。

3月号 吉川さおり



法を求める八重山連絡協議会

吉川さおり四選に向け取り組み強化!!

2025年度九州ブロック会議開催

副会長 富元 忠

「NTT労組退職者の会中央協議会」主催の九州ブロック会議が3月3日～4日の日程で長崎市において開催され事務局長と副会長で参加した。参加は九州・沖縄の各県支部協議会とNTT労組九州総支部、電通共済会、きらら保険サービス、ライフアシスト総勢の31名で行われた。

二日目の討論テーマは、①ジエンダーパー平等推進の取組み、②第27回参議院議員選挙等があつた。特に活発に論議されたのは組織内候補の「吉川さおり」必勝に向けての取組みである。「吉川さおり」必勝に向けた取組みの強化、お元気コール、紹介者カードの集約、ホームページの活用など、工夫を凝らし「現・退一致」で取組んでいくことを確認した。

八十年の節目に当たり、沖縄からは今年度の反戦・平和運動の取組みを提起・報告を行った。

初日の討論テーマ、「会と会員のコミュニケーション活動」について、各支部協から報告があり、グラウンドゴルフや団碁大会等のレクが主であつたがユニークなのが男性に料理を教えるとか女性に魚の捌き方を教える、他には孫が生まれたら祝い金の贈呈等色々な取組みを行い会員との交流を模索しているのが伝わってきた。

めの市長であつてほしい。市民の皆様もこのことに関心を持つてほしい」と述べています。私たちも今後もこの姿勢を貫き平和を希求していきます。

「笑顔（スマイル）」で 楽しみ賞品ゲット

3月2日、情報労連沖縄県協議会主催の「2025春闘まつりボウリング大会」が開催されました。

私も退職者の会メンバーとして初めて参加しましたが、現役の皆さんやOBの皆さんと久しぶりにお会いでき、ワクワク、ドキドキしながら楽しくプレーしました。

成績はチームの良きメンバー（チーム名スマイル）とバックの大応援団のお陰で、団体戦準優勝、そして個人戦女子の部でも準優勝という思いがけない好成績でたくさんの賞品（金ちゃんヌードル1箱、商品券等）も頂き最高に嬉しかつたです。

表彰式、団結交流会も美味しく食事しながら大いに盛り上がりました。



個人戦	成績	団体戦（スマイル）	成績
2位 上原春美	準優勝	3位 西表安子	2位 上原春美

このような交流イベントや私たち退職者会員のため、日々ご尽力されている役員の皆さま方に感謝致します。楽しい時間を過ごすことができありがとうございました。
上原 春美

相続に関するセミナー

確定申告も終え、新年度を迎えて多忙な日々が続いている方もいるかと思います。

会員のみなさまいかがお過ごしでしょうか。

「知って得する税金セミナーについて」を、テーマに講演会を開催いたします。

会員の方々是非ご参加お願いいたします。

1. テーマ：相続税、諸手続きを理解しよう

2. 日 時：4月24日(木)

13:00～15:00 受付：12:30～

3. 場所：浦添市ハーモニーセンター（地図あり）

浦添市安波茶2-3-5 TEL:098-874-5711

4. 講師：六浦 俊吾 GTM 税理士法人那覇事務所

5. 申込締切：4月15日(火曜日)

6. 参加人数：30名（定員に達し次第締め切りとします）

参加申し込み NTT労組退職者の会

電話番号：098-870-7101（月～金・10時～15時）

